

# おじさんプロジェクト（仮称）

おやじ世代の地域活動参加を促進させよう！

# おじさんプロジェクト(仮称)に至る流れ



## 新しい活動づくりに向けて



## コロナ禍での動き

# 問題を深掘りした結果

助け合いの気持ちはあっても、高齢者（特に認知症の方）との考えの違いやトラブルが生じると途端に排除ムードになってしまう

地域づくりの中核は町会であり、町会を新しい発想で活性化させることが必要ではないか。

いくら助け合いの気持ちはあっても、知らない人同士で助け合おうとは思わない。顔の見える関係が必要。

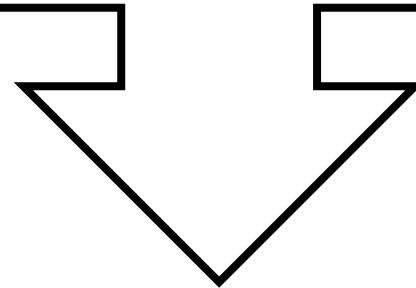
助け合いの気持ちはあっても、実際には働く世代では、時間に余裕がない。

おやじ世代は、親の世代の地域での付き合い方を見ているし、親の介護の心配などもしている。  
まずはおやじ世代が地域で顔の見える関係になることが必要ではないか。

おやじ世代は、親の世代の地域での付き合い方を見ているし、親の介護の心配などもしている。

まずはおやじ世代が地域で顔の見える関係になることが必要ではないか。

おじさんプロジェクト（仮称）



～第1層生活支援コーディネーターの動き～

おやじ世代の社会参加促進に向けた、  
調査・準備・声掛け・・・など

- ・ 活動しているおやじ世代のみなさんに、  
インタビュー
- ・ 全国の事例をみてる
- ・ おやじ世代を引き込むコツを学ぶ



実際に、

おやじ世代による新しい活動をつくろう！

# ①感染拡大で、 全員で集まることは難しくなった



- ・ 個別に何名かと電話や直接お会いし、意見交換等を行った。
- ・ コロナが収まってきたら、皆で集まり検討する。

②ステップアップ研修受講生だけで、  
ゼロから活動を立ち上げるは難しい。



### ◆活動案

- ・ 既存のイベントや、活動の支援・手伝い
- ・ 学校の部活応援団や、校内作業等の手伝い
- ・ おじさんを軸にした居場所づくり

### ③ ステップアップ研修受講生だけでは、 動きが弱いかも

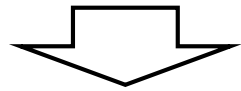


- 既に活動を経験している方へ協力依頼
- NPO、活動団体等からの情報収集
- 学校（コミュニティスクール含む）との連携  
情報収集
- 居場所として利用可能な物件等の情報収集



# くらしのサポーターステップアップ研修 男性受講生をその気に！

- ・ 令和2年11月4日～25日 計6回
- ・ 令和3年11月6日～30日 計6回



「せっかくなので、  
学んだことを活かして何かしましょう！」



日をあらためて、集まろう！

# 12月18日 男性チーム有志6名で会合

## <何かの活動をしたい気持ちはある>

- ・いきなり新しい組織としての活動は、ハードルが高い。
- ・まずは、既存の活動への協力・支援
- ・経験とつながりをつくった後、自分たちの活動へ

## ◆これなら、やれそう・やってみたい（案）

- ・既存のサロン活動支援（相談・傾聴等）
- ・技能実習生などとの交流→多世代交流へ
- ・地域の防災活動への協力

# オミクロン株の急拡大によって、2回目会合は延期。

(蔓延防止等重点措置終了後、改めて日程調整となる R4年2月28日現在)

## ◆会合、延期期間内の動き

- ・ コロナ禍でのサロン活動の先進事例調査
- ・ 技能実習生の支援に関する情報収集や協議  
→具体的な活動に向けてJICA・HIFとの協議
- ・ 防災活動への支援・協力に関しての情報収集や協議  
→具体的な活動に向けて函館市女性会議との協議

など

# 協議体のみなさまへ

- ・ おやじ世代の協力、支援を受け入れてもらえそうな活動情報があれば、ぜひ教えてください。  
(できるだけ具体的なら嬉しいです)